

第4章 予算の概要 ..... 19

1. 2009年度経済産業省予算の概要 ..... 19

## 第4章 予算の概要

### 1. 2009年度経済産業省予算の概要

2009年度経済産業省関連予算については、現下の経済状況を乗り切るための中小・小規模企業・雇用確保対策を最重要課題として取り組んだ。

また、当面の緊急対策にぬかりなく取り組む一方、我が国が持つ強みを最大限に活かし、将来に向けて力強く成長していくため、「新経済成長戦略2008」（2008年9月19日閣議決定）等に盛り込まれている、以下の取組を推進。

- (1) 資源生産性の抜本的向上を実現する新たな経済産業構造の構築
- (2) イノベーションの促進とグローバル戦略の再構築
- (3) 中小企業の活性化と地域の活力向上

### ・2009年度予算の構造

(単位：億円)

	2009年度 予算	2008年度 当初予算額	増減額	増減額
一般会計（除くエネ特会計繰入）	4,281	4,262	19	0.4%
エネルギー対策特別会計	7,034	7,216	-182	-2.5%
特許特別会計	1,204	1,228	-24	-2.0%
貿易再保険特別会計	2,061	2,121	-60	-2.8%
経済産業省合計	14,580	14,827	-247	-1.7%

※金額：2009年度予算額、( )内の金額：2008年度当初予算額

中小企業対策費 1,890億円 (1,761億円)

※財務省、厚生労働省計上の中小企業対策費を含む。

1,890億円には、2009年度に特有の「政策金融改革に伴う特殊要因増」(79億円)を含んでおり、これを除いた中小企業対策費は1,811億円で、実質的な伸びは対前年度2.9%増となっている。

科学技術振興費 1,487億円 (1,477億円) 対前年比 0.7%増

財政投融资特別会計（投資勘定）

749億円 ( 653億円) 対前年比 14.7%増

### ・一般会計予算について

- ・政策の棚卸し等を通じた予算の見直しを実施しつつ、必要な施策に予算配分を重点化し、総額としては、シーリングによる削減の中、前年比0.4%増となる4,281億円を実現。
- ・地域、中小・小規模企業の活性化に向けた中小企業対策費については、中小企業金融の強化や下請取引の適正化の推進、農商工連携等による新事業活動支援、商店街支援の強化、中小企業の事業再編支援等に重点化。

- ・イノベーション促進に向けた科学技術振興費については、低炭素社会・安全安心な社会の実現に向けた研究開発や、先進的社會システムの実証、懸賞金型補助金制度の創設等研究成果の実用化支援等に重点化。
- ・重要課題推進枠については、中小企業金融、農商工連携の推進、イノベーションの促進、温暖化対策推進、レアメタル対策等に資する予算として、227 億円（※）を確保。  
※財務省計上の中小企業対策費を含む。

## ・特別会計予算について

### (1) エネルギー特別会計

エネルギー対策特別会計では、引き続き「基本方針 2006」（2006 年 7 月 7 日閣議決定）に則り、効率的な財政運営に努めるとともに、重要課題実現のためにこれまで以上に筋肉質な予算編成を行い、資源・エネルギーの安定供給確保と低炭素社会の実現を政策の両輪として、エネルギー安全保障、環境保全、経済成長の一体的解決に加速的に取り組んだ。

総額： 7,034 億円（対前年 182 億円減）

うちエネルギー需給勘定： 4,821 億円（対前年 154 億円減）

うち電源開発促進勘定： 2,213 億円（対前年 28 億円減）

### (2) 特許特別会計

特許特別会計では、「知的財産推進計画 2008」（2008 年 6 月 18 日公開）に沿って、世界最高水準の迅速・的確な特許審査の実現や、イノベーションの促進のための環境整備など知的財産政策を効率的に推進していくため、1,204 億円（対前年 24 億円減）の歳出予算を計上した。

### (3) 貿易再保険特別会計

貿易再保険特別会計では、我が国企業の貿易・投資に関して、戦争や為替取引の制限といった通常の保険では救済することができないリスクをカバーする（1,472 億円）とともに、過去に赤字補てん目的で一般会計から繰り入れた金額（1,968 億円）を 2007～2010 年度で全額繰戻すため、その一部を計上し（492 億円）、総額 2,061 億円（対前年 60 億円減）を歳出予算に計上した。